

## 山形大学紀要（医学）投稿規程

紀要（医学）編集委員会  
平成11年3月2日制定  
平成12年9月5日改正  
平成14年11月12日改正  
平成16年3月4日改正  
平成17年4月19日改正

- 本誌の名称は、「山形大学紀要（医学）[Bulletin of Yamagata University (Medical Science)]」(ISSN : 0288-030X) とし、文献引用に際しては、通称「山形医学 (Yamagata Medical Journal ; 略称 Yamagata Med J)」を用いてもよい。
  - 本誌は医学医療の進歩発展に貢献する論文で他誌に発表されていない原著、総説、症例報告、CPC、学会抄録、医学部における学術講演会の要旨等を掲載し、年2回の発刊とし、各々の原稿の締切日は3月1日及び9月1日とする。
  - 投稿者は、原則として本学教職員とする。
  - 原稿の採否並びに掲載号については山形大学紀要（医学）編集委員会（以下、委員会）に一任のこととする。
  - 本誌への投稿の際には次のものを揃えて、委員長宛に提出する。
    - 手紙
    - 表紙
    - 抄録
    - 本文
    - 文献
    - 表・図版とその説明
    - 邦文論文にあっては欧文抄録
    - ワードプロセッサのフロッピーディスク

表紙を1頁、表・図版とその説明を最後として頁を加える。手紙は1通、他は正1部、副（コピー）2部を提出する。原稿にはA4判用紙を用い、原則としてワードプロセッサを使用する。

邦文は40字×30行とし、平仮名、横書き、現代仮名づかいを用いる。数字は算用数字を用いる。欧文では、必ずタイプを用い、ダブルスペースで、原則として80字×20行とし、3 cmのマージンを空ける。邦文の原著、総説は原則として16,000字以内、症例報告は8,000字以内とし、表・図版は400字と換算する。欧文の場合は、原著、総説は25枚以内、症例報告は10枚以内とする。
  - 手紙：この論文がこれまでに他誌に掲載されたことがない、または投稿中ではないことを述べた内容を含む。
  - 表紙：
    - 論文題名（これには略語を用いてはならない）
    - ランニングタイトル（邦文25字以内、欧文40字以内）
    - 著者名
    - 所属教室名（または機関名）
    - 論文の連絡者名
    - 希望別刷部数
    - ワードプロセッサの機種名とソフト名を記入する。
  - 抄録：邦文においては800字以内、欧文においては200語以内とし、構成は、背景、方法、結果、結論とする。Key words を5つ以内付記する。
  - 本文：
    - 構成は、緒言、対象と方法、結果、考察、謝辞とする。
    - 測定単位以外の略語は使用しない。ただし、標準的な略語は初めて表示する際に省略元の語句を明示した後に使用してもよい。
    - 文献は該当箇所の右肩に片括弧で引用順に記す。
    - 表・図は該当箇所に括弧で表示し、図版は印刷に耐えられるものとする。
    - 商品名、薬品名は一般名とし、単位、記号は国際単位を用いる。
    - 動植物、微生物等の学名は、邦文では片仮名とする。
  - 統計処理法を明記する。
  - 文部科学省科学研究費等の研究費の出所は謝辞の項に記載する。
  - 文献：
    - 引用順に一括する。
    - 私信、未発表データ、及び「未発行」または「投稿中」の原稿に対して番号をつけた文献は認めない。
    - 雑誌名の省略は、Index Medicus 及び医学中央雑誌に従う。
    - 著者が6名以内の場合は全員を記載し、7名以上の場合是最初の6名のみを記載して後は「他」または「et al.」とする。
    - 記載形式は以下のとおりとする。
      - 例) ①雑誌
        - 楊黄恬, 野呂田郁夫, 遠藤政夫: メトキサミンの強心作用とPI代謝促進効果. 心臓 1994; 26 (Suppl. 4) : 24-28
        - Endoh M: Physiological and pathophysiological modulation of calcium signalling in myocardial cells. Jpn Circ J 1991; 55: 1108-1117
      - ②単行書
        - 遠藤政夫, 安部不二夫: 血管平滑筋内皮細胞におけるCaイオンの研究法. 江橋節郎編, エクオリン実験法. 東京; 学会出版センター, 1990 : 291-301
        - Watanabe T, Shimazaki Y, Saitoh H, Kuraoka S, Ji Wei Zhang, Oshikiri N, et al.: Nutrient blood flow in the canine brain perfused retrogradely during hypothermia. In: Kawashima Y, Takamoto S, eds. Brain Protection in Aortic Sugery. Amsterdam; Elsevier, 1997: 59-69
  - 表・図版の説明は本文とは別にまとめる。
  - 臨床治験に関しては「ヘルシンキ宣言」、動物を用いた研究は「山形大学医学部動物実験指針」あるいはこれに準ずるものを遵守したものでなければならない。このことを本文中に明記する。
  - 校正は2校まで著者が行う。校正の段階での大幅な加筆や訂正は認めない。
  - 出版経費に不足が生じた場合、別刷料（100部を超える場合）及び特殊印刷費用については、著者の所属する教育研究分野、講座等の大学運営資金をもって負担することがある。
  - 論文を投稿する者は、山形大学に対して、当該論文に関する出版権の利用につき許諾するものとする。なお、掲載された論文等は、原則として電子化するものとし、附属図書館ホームページ等を通じてコンピュータ・ネットワーク上に公開する。
  - この規程に定めた以外の事柄については、委員長の判断による。
- 附 則  
この規程は、平成11年4月1日から施行する。
- 附 則  
この規程は、平成12年1月7日から施行し、平成12年1月1日から適用する。
- 附 則  
この規程は、平成13年1月1日から施行する。
- 附 則  
この規程は、平成14年11月12日から施行する。
- 附 則  
この規程は、平成16年4月1日から施行する。
- 附 則  
この規程は、平成17年4月19日から施行し、平成16年4月1日から適用する。